

2023年6月19日

～一般乗合バス（路線バス）の上限運賃変更認可申請について～

うみ・まち・さと—心でむすぶ



ことでんバス株式会社（本社：香川県高松市朝日町 代表取締役社長 真鍋康正）は、2023年9月1日を実施予定とした一般乗合バス（路線バス）の運賃改定について、本日、国土交通省四国運輸局に一般乗合旅客運送事業の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃よりご利用いただいておりますお客様には、何卒事情をご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

（1）申請の理由

弊社では、消費税率の改定や一部エリアでの軽微な運賃改定を除き、1997年6月の改定以来、約26年間もの長期にわたり、企業努力により運賃を変更する事なく輸送サービスの提供に努めてまいりました。

しかしながら、少子高齢化や移動手段の多様化による社会環境の変化に加え、近年では新型コロナウイルスの影響に伴う新しい生活様式の定着により、輸送人員は大幅に減少し、収入は極めて厳しい状況となっております。一方では燃料価格やバスに関わる部品・資材など、あらゆるコストが高騰し事業経営を圧迫しております。また今後も深刻な運転士不足に対する要員の確保や安全輸送に取り組む為の設備投資による経費の増加も見込まれます。

このような厳しい状況においても、公共交通事業者として、安全輸送を確保した上で安定的にサービスを提供していく為には、今後も更なる経営改善に努めるとともに、運賃改定による収支改善が必要であると判断し、上限運賃の変更申請を行ったものです。

(2) 申請の内容

1. 申請日 2023年6月19日
2. 実施予定日 2023年9月1日
3. 申請対象路線 一般乗合バス（路線バス）対キロ制区間全路線
4. 申請上限運賃の改定率 19.72%
5. 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	上限運賃（申請）	実施運賃（予定）
基準賃率	43円10銭	51円40銭	—
初乗り運賃	170円	210円	200円

※ 上限運賃…事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受しても良いとされる運賃の上限額。

※ 実施運賃…認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額。区間ごとの運賃は対キロ区間制により距離と基準賃率を基に計算。

※ 通学定期の割引率について、家計への負担をなるべく増やさないよう、今回の運賃値上げに伴い、現行の45.8%引きから50.0%へ割引率を引き上げます。（通勤定期については割引率30.8%引きで据置）

6. 主要区間の運賃

区間	片道運賃			定期（通勤1ヶ月）	
	現行	上限（申請）	実施（予定）	現行	実施（予定）
高松駅～瓦町	170円	210円	200円	7,060円	8,300円
高松駅～本津	330円	400円	390円	13,700円	16,190円
高松駅～馬場先	400円	490円	470円	16,610円	19,510円

※ 改定後の実施運賃はあくまでも予定であり、今後変更になる場合があります。

※ その他の区間の実施運賃についても検討中です。後日お知らせします。

(3) 乗合バス事業の収支状況および輸送人員

		収支状況	輸送人員
実績年度（2021年度）		△158百万円	1,995千人
平年度 推定 （2023年度）	運賃改定前	△227百万円	2,194千人
	運賃改定後	△138百万円	2,142千人

(4) これまでの経営合理化状況および今後の取り組み

ことでんバスではこれまで、ご利用状況に合わせたダイヤの見直しや新駅開業に伴う路線再編および駅への乗り入れを行う事による距離の短縮など、運行の合理化および効率化に取り組んでまいりました。一方で路線バスのラッピングなど広告収入の確保も積極的に行い、経費の削減とともに、経営改善に努めてまいりました。

今後ご利用状況を踏まえた運行計画の見直しや路線の再編を進める他、業務の改善および生産性の向上に努め、さらなる経営改善を図り事業を継続してまいりま

す。

(5) 輸送の安全確保のための取り組み

事故防止年間目標を定め全社員に周知することで安全意識を高め、事故防止に努めています。また、年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施、春・秋の交通安全運動も積極的に推進し、安全運動を実施しています。2年に1度の受講が義務付けられている運行管理者一般講習を運行管理者全員に受講させると共に、運輸安全マネジメントセミナーを受講しております。

また、点呼執行の際、アルコールチェックはもとより「健康状態・薬の服用」および「睡眠不足」についてチェックし、「事故防止目標」を呼称させることにより安全意識の高揚に努めると共に、運転士の健康起因による事故防止対策として、脳ドック検査・SAS検査を実施し、運転士の健康管理に取り組んでおります。

運転技術の向上、車内外の安全の確認、サービス向上を目的として年間2回、運行管理者等が添乗指導を行っています。適性診断の受診により、各個人の持っている長所、短所（くせ）を見出し、運転におけるそれぞれのくせに応じたアドバイスを提供することで、各運転士が自覚し安全運転に努めています。

2022年1月には運転士全員を対象として「2021年度の事故分析」「ドライブレコーダーを活用したヒヤリハット事例」「異常時の機器取り扱い」「冬道の走行」について安全教育を実施し、チェーン教習を未装着者および新人運転士に対して行い、事故防止意識の向上に努めております。

2021年4月から安全性の更なる向上を目指し、乗務員に対しバスの運行状況を的確に把握する電子スタフを設置しました。各種情報を提供すると共にGPSにより、バスの現在位置情報を把握し、早発防止機能をはじめ、運行上注意が必要な地点の注意喚起をおこなうことで、乗務員の運行業務をサポートするシステムを導入しました。

(6) サービス向上への取り組み

弊社では、お客様からあらゆるご意見をお寄せいただく「イルカBOX」を全車両、瓦町・高松駅案内所に設置しています。頂戴したご意見については直ちに状況を調査し、必要な安全対策や社員教育に活用させていただいております。

2021年11月に香川県視覚障がい者福祉センターおよび香川県立盲学校から講師を迎え、障がい者差別解消法についての説明や利用者の方からの講義を受け、バス車両を使い視覚障がい者疑似体験や乗降介助方法などについて体験しました。

ことでん伏石駅前に高松市が整備したバスターミナルが完成し、現在4路線を運行しております。今後もバスと電車の結節点として、お客様がご利用しやすいバス路線を目指して取り組んでまいります。

2021年度はバス停留所2カ所にベンチを2脚設置しました。今後もバス待ち環境の整備に努め、利便の向上に努めてまいります。

位置情報システム「どこにIruCaなび」が2021年4月より新機能を追加しリニューアルしました。5か国語対応、運行中のバスに遅れが発生しているかなどリアルタイムに表示ができます。また、2022年3月に瓦町のバス乗り場に、20

23年2月に高松市役所入口にバスの運行状況がリアルタイムに把握できるサイネージ（電子看板）を設置いたしました。今後も関係機関と連携を図りお客様の利便性向上に努めてまいります。

以上

資料に関するお問合せ先

ことでんバス株式会社 運輸サービス部

TEL087-821-3033